

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	AYA(Adolescence and Young Adult)世代がんの個別化予防に資する遺伝要因の同定を目指す研究		
1. 研究の目的と方法	AYA 世代がんと言われる15歳から39歳までにがん（造血器腫瘍、甲状腺がんを除く）を発症する頻度はがん全体の約0.1~5%と低く、AYA 世代で発症した患者背景や遺伝子のバリエーション（遺伝子の個人差）に違いがあるかどうかは殆ど分かっていません。この研究では、AYA 世代がんの発症リスクに関わる患者背景や遺伝要因または環境要因などを見つけ出すことで、AYA 世代がんに対する個別化された予防手段や発がん分子機構の解明を目指します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日~2028年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2003年1月1日より2020年12月31日に東京慈恵会医科大学産婦人科学講座において「婦人科腫瘍の発生、進展に関与する遺伝子変化の検討とその分子標的治療の開発」（倫理委員会受付番号14-132（4001））、「婦人科腫瘍の発生、進展に関与する遺伝子変化の検討とその分子標的治療の開発-バイオリソースバンク・データベースの構築-」（倫理委員会受付番号28-083（8326））もしくは本研究計画に同意が得られている卵巣がん患者様のうち、診断時の年齢が16歳以上40歳未満の患者様を主な対象とします。また、比較対象として、40歳以上の症例も必要に応じて解析します。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	腫瘍、血液	
	(2) 試料の取得の方法	手術の時に採取した組織の一部をいただきます。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、治療などの臨床情報	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	岡本 愛光
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する	<研究代表機関> 国立がん研究センター研究所 ゲノム生物学研究分野		

施設とその
責任者

白石 航也（機関の長:研究所所長 間野 博行）

<共同研究機関>

理化学研究所統合生命医科学研究センター チームリーダー 桃
沢幸秀（機関の長：センター長 山本 雅）

公益財団法人 星総合病院 院長 渡辺 直彦（機関の長：左記
に同じ）

秋田大学大学院医学系研究科器官病態学講座 教授 後藤 明輝
（機関の長：学長 南谷 佳弘）

山梨県立中央病院乳腺外科 副院長 中込博（機関の長：院長
小嶋 裕一郎）

神奈川県立がんセンター婦人科 部長 佐治 晴哉
神奈川県立がんセンター乳腺内分泌外科 部長 山下 年成
神奈川県立がんセンター臨床研究所 部長 宮城 洋平
（機関の長：総長 古瀬 純司）

福島県立医科大学乳腺外科学講座 主任教授 大竹 徹
福島県立医科大学産科、婦人科 教授 添田 周拝
福島県立医科大学消化管外科学講座 主任教授 河野 浩二
福島県立医科大学附属病院 がんゲノム医療診療部 副部長 齋
藤 元伸
（機関の長：学長 鈴木 弘行）

埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科 教授 長谷川幸清
（機関の長：病院長 佐伯 俊昭）

昭和医科大学産婦人科 教授 関沢明彦・教授 松本光司（機関
の長：学長 上條 由美）

静岡がんセンター 副所長 浦上研一（機関の長：総長 上坂
克彦）

ナショナルセンターバイオバンクネットワーク（NCBN）中央バイ
オバンク バンク長 徳永勝士（機関の長：左記に同じ）

国立長寿医療研究センター 研究所メディカルゲノムセンター
センター長 尾崎 浩一（機関の長：左記に同じ）

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター 病院バイオバ
ンク科 科長 下村 昭彦（機関の長：国土 典宏）

	<p>国立精神・神経医療研究センター バイオソース部 部長 服部 功太郎（機関の長：戸田 達史）</p> <p>国立成育医療研究センター 研究所・副所長 深見 真紀（機関の長：左記に同じ）</p> <p>国立循環器病研究センター 副センター長 朝野 仁裕（機関の長：山本 一博）</p> <p>自治医科大学附属さいたま医療センター一般・消化器外科 教授 力山 敏樹（機関の長：センター長 遠藤 俊輔）</p> <p>東京大学 医科学研究所/新領域創成科学研究科 教授 村上善則・教授 松田浩一</p> <p>東京大学 医科学研究所 教授 井元清哉</p> <p>東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授 鈴木 穰</p> <p>東京大学 医科学研究所/ヒトゲノム解析センター 助教 高橋 数冴</p> <p>（機関の長：総長 藤井 輝夫）</p>
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、研究代表機関のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：追跡可能な方法で郵送</p> <p>試料・情報の利用または提供予定開始日：2018年4月頃～</p>
【問い合わせ先】	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座</p> <p>研究責任者：主任教授 岡本 愛光（おかもと あいこう）</p> <p>窓口担当者：助教 黒田 高史（くろだ たかふみ）</p> <p>電話番号：03-3433-1111（内線 3521）</p> <p>対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。